

陳 情 文 書 表

(令和5年12月1日)

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第44号 (5. 11. 24) 長田・兵庫の市バス路線の充実を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市バスの運賃は値上げしないこと。 2. 長田・兵庫のバス路線は本数を減らさず利便性を良くすること。 3. 市民の切実な声を聞き、安心した生活が出来る路線にすること。
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市長田区 全日本年金者組合長田支部 木下 清子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>都市交通委員会</p>

2020年11月24日

神戸市会議長 坊やすな様

神戸市長田区

全日本年金者組合長田支部

木下清 印

長田・兵庫の市バス路線の充実を求める陳情

(陳情趣旨)

今回の路線再編の目的について神戸市交通局は利用者数が新型コロナウイルスにより大きく減り、今後も少子化により減少傾向にある事、燃料費等の経費高騰の影響を大きく受けるなど事業経営は極めて深刻な状況にあり、事業の存続そのものが危ぶまれる状況にあると説明されています。しかし利用者減についてのデータは、コロナ禍おなじみ外出するのが非常に制限されていた時であり、その時データをを用いた利用者減により再編の理由にはならないと思います。路線再編案についても特に95系統の廃止については西市民病院に通院する人達から大きな不安の声があげられています。

95系統についても中央卸売市場を利用する人や三菱、川崎などに通勤する人達にも影響を及ぼします。乗り換えありきの再編は時間ロスと乗り場に戸惑い、そして夏の異常な暑さ、冬の厳しい寒さの中でのバス待ちをする事は耐えられません。

又、高齢者が重いショッピングカートを持って何回もバスを乗り換える事は大変な事です。

高齢者が多くなっている今、免許証を返上などで市バス・地下鉄など公共交通を利用する人が増えています。子どもから高齢者が安心して市バスを利用して生活できるようにバス路線の再考を訴えます。

(陳情項目)

1. 市バスの運賃は値上げしないで下さい。
2. 長田・兵庫のバス路線は、本数を減らさず利便性を良くして下さい。
3. 私達市民の切実な声を聞き、安心した生活ができる路線にして下さい。